

第2期鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和4年度実績に係る効果検証結果 総括表

検証会議の意見（施策に対する評価）
 A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

検証会議による検証結果

積極・適応戦略		1 稼げるしごとで活力を「つくる」	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	重点戦略			合計
						1 “世界に選ばれたまち KAGOSHIMA” 推進プロジェクト	2 “次代につなぐふるさと担い手” 創出プロジェクト	3 “デジタル技術で豊かなまち” 創造プロジェクト	
施策に対する評価	A	5	9	5	9	1	2	2	33
	B	0	0	0	0	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	9	5	9	1	2	2	33

KPIの評価
 a：十分に達成されている
 b：概ね達成されている
 c：あまり達成されていない

(参考) KPIの評価

積極・適応戦略		1 稼げるしごとで活力を「つくる」	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	重点戦略			合計
						1 “世界に選ばれたまち KAGOSHIMA” 推進プロジェクト	2 “次代につなぐふるさと担い手” 創出プロジェクト	3 “デジタル技術で豊かなまち” 創造プロジェクト	
KPIの評価	a	3	5	2	8	0	1	1	20
	b	2	2	1	1	0	1	1	8
	c	0	1	2	0	1	0	0	4
	- (評価対象外)	0	1	0	0	0	0	0	1
合計		5	9	5	9	1	2	2	33

○ KPIの評価は、内部基準に基づく絶対評価である。

積極戦略1 稼げるしごとで活力を「つくる」

<概要>KPIの評価
 a : 十分に達成されている
 b : 概ね達成されている
 c : あまり達成されていない
 - : 評価なし

検証会議の意見
 A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見				
				施策の進捗状況等 (R4)	今後の方向性(考え方)					
1	1 稼げるしごとで活力を「つくる」	(1) 地域産業の稼ぐ力の強化 ① 地域産業の競争力強化	産業振興、創業支援、新事業展開支援資金の利用件数 本市の事業活用による商談成約件数 6次産業化・農工商連携等によってつくられた新商品数	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	KPIについては、概ね達成されている。 R4年度の取組状況としては、金融機関への個別訪問や商店街等に対する各種支援のほか、事業承継を契機とした新たな領域への挑戦を支援するため、トークセッションやワークショップを開催するなど、若手後継者に対する支援を行った。 また、6次産業化・農工商等連携を推進するため、商品開発のできる施設整備を行い、商品開発の取組も拡大の体制整備を図ったほか、新商品開発等に支援し、新たな商品づくりを促進した。	引き続き、経営基盤の安定・強化に向けた融資制度の拡充や商店街等の活性化に向けた支援を行うほか、トークセッションの開催等を通じて、若手後継者による新事業展開等を支援する。 また、6次産業化・農工商等連携を推進するため、商品開発のできる施設の利用促進や加工及び販売などの研修会を実施するなど、6次産業化に取組む意欲がある生産者等を支援する。	KPIについては、地域産業の競争力強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、各取組の経済効果や将来性などの把握・分析に努めるとともに、引き続き、6次産業化・農工商等連携に係る取組のスマート化を図っていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位	545	23.1%	b					
(R2)	308	1,334	件	16		10.0%				
(R2)	10	160	件 (5年間)	9		18.0%				
(R2)	6	50	品目 (5年間)							
2	1 稼げるしごとで活力を「つくる」	(1) 地域産業の稼ぐ力の強化 ② 新事業・新産業の創出支援	新たな事業展開に取り組む事業者数	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、新サービス等の創出に向けた助成やセミナー等各種支援を実施するとともに、クリエイティブ産業の育成・支援に取り組んだほか、SOHO事業者を育成・支援する拠点施設であるソーホーかごしまの運営やインキュベーションマネージャーによる相談支援等を通じて、新規創業者等の育成に取り組んだ。	引き続き、新サービス等の創出に向け、各面から支援するとともに、マークメイザンの企画運営やかごしまデザインアワードの開催等を通じて、クリエイティブ人材の育成、コミュニティ形成、マッチング支援、情報発信などクリエイティブ産業の育成支援に取り組む。 また、ソーホーかごしまを拠点として、新規創業者等の育成・支援を引き続き行い、地域産業の稼ぐ力の強化につなげる。	KPIについては、新事業・新産業の創出支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、新規創業者のフォローアップ及び創業に至らなかった要因分析を行うほか、クリエイティブ産業の振興やインキュベーション施設の機能強化・活用がKPIの達成に与える効果の分析に努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位	24	21.8%	a					
(R2)	17	110	事業者 (5年間)							

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																						
				施策の進捗状況等 (R4)	今後の方向性(考え方)																								
3	1 稼げるし ことで活力 を「つくる」	(1) 地域産業の稼ぐ力の強化 (3) 人材の確保・育成 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>33</td> <td>180 事業者 (5年間)</td> </tr> <tr> <td>(R2)</td> <td>3</td> <td>15 人 (5年間)</td> </tr> <tr> <td>(R2)</td> <td>24</td> <td>150 人 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	33	180 事業者 (5年間)	(R2)	3	15 人 (5年間)	(R2)	24	150 人 (5年間)	本市支援による新規創業者数 空き店舗等を有効活用して事業やまちづくり活動を行った者の数 農林水産業の新規就業者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>83</td> <td>46.1%</td> <td rowspan="3">a</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>13.3%</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>15.3%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	83	46.1%	a	2	13.3%	23	15.3%	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、SOHO事業者を育成・支援する拠点施設であるソーホーかごしまの運営やインキュベーションマネージャーによる相談支援等により、新規創業者等の育成を図るとともに、セミナーの開催を通じて空き店舗等の有効活用を行う人材の確保・育成に取り組んだ。 また、技術研修、農地の斡旋、就農に必要な設備など新規就農者への支援に加え、かごしま漁業学校等の周知や林業就業者の就労条件の改善に努めるなど、農林水産業の新規就業者の確保・育成に取り組んだ。 さらには、UIJターンによる就業・起業者の創出のため移住支援金を支給したほか、イベントやお試し移住等の実施によりクリエイティブ人材の誘致にも取り組んだ。 これら各面からの幅広い取組により、地域産業の稼ぐ力の強化につながる人材の確保・育成が図られた。	引き続き、ソーホーかごしまを拠点として新規就業者等を育成・支援するとともに、セミナー開催による人材育成やマッチング支援により空き店舗等の有効活用を促進するほか、就農相談や経営開始資金の交付など各面からの支援に取り組み、農林水産業の新規就業者の確保・育成を図る。 また、雇用機会のさらなる拡大に向け、東京圏から移住し、中小企業等に就業・起業またはテレワークを行っている子育て世帯への支援金を拡充するとともに、本市と関わりを有する方を対象に追加することなどにより、UIJターン人材のさらなる誘致・確保につなげるとともに、引き続きクリエイティブ人材の誘致に取り組む。 さらに、高校生や大学生等を対象にプログラミング技術を学ぶセミナー等を開催し、本市経済の持続的な成長を支えるICT人材の育成と地元定着に取り組む。	KPIについては、人材の確保・育成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、移住に至らなかった要因分析を行うほか、若者の地元定着に向けた取組を積極的に進めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																											
(R2)	33	180 事業者 (5年間)																											
(R2)	3	15 人 (5年間)																											
(R2)	24	150 人 (5年間)																											
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																											
83	46.1%	a																											
2	13.3%																												
23	15.3%																												
4	1 稼げるし ことで活力 を「つくる」	(2) 魅力的で安定した雇用場の確保 (1) 企業立地の推進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>8</td> <td>40 件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	8	40 件 (5年間)	企業立地件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>30.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	12	30.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、首都圏における展示会へのブース出展や新聞広告等を用いた企業立地促進補助制度のPR、市外企業に対するオンライン面談の活用、市内企業に対する訪問など、企業立地を推進する活動を積極的に行った。 また、連携中枢都市圏構成市で連携したPRや、立地企業の雇用確保を支援するためのハローワークと連携した立地企業の企業説明会などを実施した。	引き続き、積極的な企業訪問等を行い、補助制度や都市の魅力など本市の強みをPRし、企業立地のさらなる推進を図るとともに、フォロー訪問による情報交換等を通じて状況把握や雇用確保への支援を行う。 また、連携中枢都市圏の構成市及び県との連携を図りながら企業立地を推進する。	KPIについては、企業立地の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、積極的に企業訪問を行い、本市の特性をPRするとともに、テレワーク等を前提とした企業への設備投資等に対する支援を進めるほか、連携中枢都市圏の構成市や県との連携も強化していただきたい。	A										
基準値	目標値 (R8)	単位																											
(R2)	8	40 件 (5年間)																											
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																											
12	30.0%	a																											
5	1 稼げるし ことで活力 を「つくる」	(2) 魅力的で安定した雇用場の確保 (2) 若者、女性、高齢者等の就労支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>12</td> <td>60 件 (5年間)</td> </tr> <tr> <td>(R2)</td> <td>273</td> <td>1,365 人 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	12	60 件 (5年間)	(R2)	273	1,365 人 (5年間)	連携中枢都市圏合同企業説明会での採用者数 本市の奨励金を活用して雇用される人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>16.7%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>204</td> <td>14.9%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	10	16.7%	b	204	14.9%	KPIについては、概ね達成されている。 R4年度の取組状況としては、雇用奨励金など本市の助成金を活用して障害者や高齢者等の雇用促進を図ったほか、若年者の雇用機会の拡大のため、連携中枢都市圏合同企業説明会を開催した。また、経営者・管理職向けのセミナーを実施するなど、女性活躍の意義についての理解を深め、その取組を促進した。	引き続き、助成金や合同企業説明会の周知広報に努めるとともに、労働局等の関係機関とも連携を図りながら、若い世代をはじめ、女性や高齢者等の就労促進に努める。 また、経営者・管理職向けのセミナーや女性管理職を育成・応援するセミナーを継続的に実施し、女性の活躍促進に取り組むとともに、関係部署とも連携を図りながら、女性が働きやすい環境整備に努める。	KPIについては、若者、女性、高齢者等の就労支援に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、奨励金を活用して雇用された人の就労状況について追跡調査を行うほか、子どものいる女性が働きやすい環境整備やひとり親世帯など同じ立場にある方の交流機会の創出など、関係機関と連携しながら、就労支援に努めていただきたい。	A					
基準値	目標値 (R8)	単位																											
(R2)	12	60 件 (5年間)																											
(R2)	273	1,365 人 (5年間)																											
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																											
10	16.7%	b																											
204	14.9%																												

積極戦略2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

<摘要>KPIの評価
 a : 十分に達成されている
 b : 概ね達成されている
 c : あまり達成されていない
 - : 評価なし

検証会議の意見
 A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見												
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)													
6	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1) 若い世代の経済的安定 ① 若者の就業支援 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R2) 65.1</td> <td>66.6</td> <td>%</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 65.1	66.6	%	鹿児島公共職業安定所(ハローワークかごしま)管内の新規卒者の県内就職率 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>67.2</td> <td>140.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	67.2	140.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、高校生を対象とした就職セミナーや大学生に向けた地元企業の魅力発信、学生等を対象とした起業セミナーの開催など、若者の就業支援、起業支援に着手に取り組んだ。	引き続き、若者の就業支援、起業支援に取り組み、若者の職場定着について、関係機関と連携を図りながら状況把握に努め、職場定着に関する国の助成金の広報など、連携した取組を進めていくとともに、高校生や新就職者を対象に開催するセミナー等により、勤労観・職業観の醸成を図る。	KPIについては、若者の就業支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、高校生ステップアップセミナー等の開催及びフォローアップや、テレワークの普及による勤務形態の変化を踏まえ、地元就職等に向けた啓発活動に努めるほか、今後、社会環境の変遷に伴い変化する労働力需要を的確に捉えた取組を検討していただきたい。
基準値	目標値 (R8)	単位																
(R2) 65.1	66.6	%																
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																
67.2	140.0%	a																
7	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1) 若い世代の経済的安定 ② 貧困の世代間連鎖の解消 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R2) 89</td> <td>545</td> <td>人 (5年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 89	545	人 (5年間)	就労支援した若者等の就職者数 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>30</td> <td>5.5%</td> <td>c</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	30	5.5%	c	KPIについては、あまり達成されていない。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での相談が減少するなど、就労支援が制限されたことなどによるものと考えられる。 R4年度の取組状況としては、「生活・就労支援センターかごしま」内の生活自立支援センターとハローワーク窓口の連携により、若者等への就労支援をワンストップで行ったほか、生活困窮世帯・ひとり親家庭等の小学5・6年生及び中学生への学習支援(学習会)を、大学生や教員OB等と協力して実施した。 母子家庭等自立支援事業では、医療事務、調剤薬局事務講座の実施や、ひとり親家庭等相談会で就労相談等を行い、就業支援を図った。 子どもの未来応援事業では、「鹿児島市子どもの未来応援プラン(子どもの貧困対策推進計画)」を策定し、子どもの貧困対策の推進を図る体制を構築しており、対策推進のため、職員研修会を実施した。 子どもの未来応援条例(仮称)制定事業では、子どもが生まれた環境に左右されず、夢や希望を持てる社会の実現を目指し、「鹿児島市子どもの未来応援条例」を制定した。	「生活・就労支援センターかごしま」によるワンストップでの支援体制を充実するとともに、引き続き、関連施策の広報・周知を進め、関係機関と連携し、取組の推進を図っていく。生活困窮者等の就労状況についても、引き続き、追跡調査を実施する。 母子家庭等自立支援事業で実施する講習会については、ひとり親家庭や企業双方でニーズの高い資格を把握し、ひとり親の就業促進を図るため、講座内容の検討を行う。 子どもが生まれた環境に左右されず、夢や希望を持てる社会の実現を目指し制定した「鹿児島市子どもの未来応援条例」について、条例の周知・啓発に取り組む。	KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響による対面での相談件数の減少等により、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、同感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、ひとり親家庭・生活困窮者に対する支援をさらに充実させるとともに、引きこもりの若者やヤングケアラーに対する支援にも取り組むほか、様々な手段による相談体制の確保や周知徹底のみならず、就労支援した年齢層の把握にも努めていただきたい。
基準値	目標値 (R8)	単位																
(R2) 89	545	人 (5年間)																
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																
30	5.5%	c																
8	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2) 結婚の希望の実現 ① 次世代を担う若者のライフプランニング支援 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R2) 655</td> <td>4,500</td> <td>人 (5年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 655	4,500	人 (5年間)	ライフデザインセミナー参加者数 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>1,465</td> <td>32.6%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	1,465	32.6%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、大学・企業等と連携してライフデザインセミナー・シンポジウムを開催し、次世代を担う若者に対し、今後のライフデザインを描けるように意識啓発に取り組んだ。また、引き続き、高校生を対象に結婚や出産、仕事とあわせた人生設計の方法など、将来を具体的にイメージできるような知識を提供するセミナーを開催した。	引き続き、幅広い若年層へのライフプランニング支援に努めるなど、結婚、妊娠、出産、子育てに対する気運の醸成に取り組んでいく。	KPIについては、次世代を担う若者のライフプランニング支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、ライフデザインセミナーの対象となる市内高校の拡充を図るとともに、妊娠・出産に対する男性の理解促進に向けたセミナーなどの開催も検討していただきたい。
基準値	目標値 (R8)	単位																
(R2) 655	4,500	人 (5年間)																
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																
1,465	32.6%	a																

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																	
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)																			
9	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2) 結婚の希望の実現 ② 結婚への支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>86.1</td> <td>90.0 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	86.1	90.0 %	婚活事業への参加者の満足度 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80.5</td> <td>89.4%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	80.5	89.4%	b	KPIについては、概ね達成されている。 R4年度の取組状況としては、出会いの場の提供のために、グランピングや謎解きをテーマにした出会いサポートイベントを開催した。 結婚相談所の運営を通じて、出会いの場を提供するとともに、マリをサポートカフェや、所員のスキルアップ研修、婚活アドバイザーによる専門相談サービスを実施し、結婚を希望する男女の支援に取り組んだ。R4年度からの新たな取組として、利用対象者を連携都市である日置市、いちき串木野市、始良市に拡大し、婚活アドバイザーとのオンライン相談を開始するなど、相談機能の充実を図った。 また、市営住宅の入居者募集時に、新婚世帯等への優遇措置を講じた。	引き続き、より効果的な方法等を含め、各種イベントの開催など、出会いの場の提供に積極的に取り組む。結婚相談所については、登録者数や婚約成立数の増加に向け、さらなる周知広報やオンラインによる婚活相談等のサービス向上に努めるなど、利用促進を図り、結婚を希望する方の婚活をサポートする。 また、今後も引き続き、新婚世帯等の市営住宅への入居支援に取り組む。	KPIについては、結婚への支援に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、結婚相談所のオンライン対応等による利便性の向上に努めるとともに、イベント実施にあたっては、マッチングアプリ等を活用した募集や婚活業界のトレンドを捉えたテーマ設定など、満足度や成婚率の向上につながる方法を検討していただきたい。	A					
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(R2)	86.1	90.0 %																						
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																						
80.5	89.4%	b																						
10	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(3) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>97.8</td> <td>100.0 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	97.8	100.0 %	乳幼児健康診査の受診率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.5</td> <td>97.5%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	97.5	97.5%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、子育て世代包括支援センターの体制整備後も、母子保健支援員や発達支援専門員の配置を行うなど、センターとしての機能の強化を図ってきたところである。 また、妊娠期から出産子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と出産・子育て応援金給付による経済的支援を一体的に実施する出産・子育て応援事業を開始し、安心して出産・子育てができるような環境づくりを推進した。 さらに、妊産婦のメンタルケアとして、産婦健診や産婦支援小児科連携により支援の必要な対象者を地域へつなぐ体制を整えたほか、不妊治療、不育症治療に対する助成を行った。 これらの取組により、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実が図られた。	子育て世代包括支援センターの機能をさらに発揮し、関係機関と連携しながら、産後早期時期での産婦健康診査やその後の産婦支援小児科連携事業を実施するなどして実情の把握に努め、地域での切れ目のない支援の充実に取り組む。 これまで同様、妊娠期からのハイリスク家庭の把握及び支援の充実、訪問指導時の問診票等使用によるハイリスク家庭の把握に努め、産科、精神科、小児科等と連携し、支援を行う。また、不妊専門相談センターによるさらなる相談支援の充実を図るほか、不妊治療の保険診療に係る自己負担について助成を行う。 妊娠・出産への支援に加え、子どもの成長・発達に対する不安を軽減できるように、乳幼児健診の受診率の向上を図る。	KPIについては、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、乳幼児健康診査の未受診者へのフォローアップに取り組むとともに、妊娠・出産に対するパートナーや支援者の理解促進に向けた取組を検討していただきたい。	A					
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(R2)	97.8	100.0 %																						
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																						
97.5	97.5%	a																						
11	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ① 子育て支援施設の整備・充実 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R3)</td> <td>82</td> <td>0 人</td> </tr> <tr> <td>(R3)</td> <td>94.9</td> <td>100.0 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R3)	82	0 人	(R3)	94.9	100.0 %	保育所等の待機児童数 保育所等への入所率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>136</td> <td>-65.9%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>95.9</td> <td>95.9%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	136	-65.9%	b	95.9	95.9%	KPIについては、概ね達成されている。しかし、保育所等の待機児童数については、特定の地区において保育利用率(需要)が上昇し、利用申込数が増加した一方、当該地区における利用定員を計画どおりに確保することができなかった。 R4年度の取組状況としては、地域子育て支援拠点施設においては、西部親子つどいの広場で利用者支援事業を開始したほか、地域子育て支援センターの配置見直しに基づき、事業者公募を行った。 また、安全な教育・保育環境の充実を図るため、引き続き、認可外保育施設への巡回支援指導や保育所等における感染症拡大防止のための支援を行い、利用児童の安全確保及び保育環境の改善、継続的な事業実施のための環境整備に努めた。 保育の受け皿については、待機児童数の増加等を踏まえて、R4年度の第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しにおいて、R6年度までに、施設の新設も含め、840人分の確保に取り組むこととした。また、保育の受け皿の不足が見込まれる区域にある保育所等の改修等へ補助を行い、2・3号定員の増員を促進する「利用定員拡大促進補助事業」を新たに実施した。 保育士等の確保については、就職奨励金の給付をはじめ、情報サイトや就職フェアを通じた情報発信を行う「保育士確保対策事業」、奨学金を利用して保育士資格等を取得し、保育業務に専従する者の奨学金返済に要した費用を補助する「保育士等奨学金返済補助事業」などを実施し、保育士等の確保や職場定着及び離職防止を図った。	子育て支援施設の整備・充実については、4年度に見直しを行った第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画に基づき、既存施設を活用した利用定員の拡大及び小規模保育事業A型を含む保育所等の整備を行い、保育の受け皿確保を行う。 また、保育士不足などにより定員まで受入れができない施設が増加していること、R6年4月開設に向けた保育所等の整備を行うこと、また、国において保育士配置基準の見直しの検討が進められていること等を踏まえ、保育士等の処遇改善・離職防止を図るための対策にさらに取り組む。 地域子育て支援拠点施設については、施設職員のスキルアップや施設間の連携を図り、子育て親子の交流の促進等を行うほか、市内13地域への地域子育て支援センターの設置に向けて取り組むなど、よりきめ細やかな支援体制の充実を図る。	KPIについては、子育て支援施設の整備・充実に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、待機児童の地域的な偏りが生じないように、受け皿となる保育所等の調整を進めるほか、引き続き、保育士等の確保や資質向上に向けた支援を充実させるとともに、現場の声を踏まえた処遇改善の取組を検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(R3)	82	0 人																						
(R3)	94.9	100.0 %																						
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																						
136	-65.9%	b																						
95.9	95.9%																							

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)														
12	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ② 放課後における児童の健全育成	児童クラブの待機児童数 <table border="1" style="width:100%;"><thead><tr><th>基準値</th><th>目標値 (R8)</th><th>単位</th></tr></thead><tbody><tr><td>(R3)</td><td>42</td><td>0 人</td></tr></tbody></table> <table border="1" style="width:100%;"><thead><tr><th>実績値 (R4)</th><th>対目標値</th><th>評価 (R4)</th></tr></thead><tbody><tr><td>34</td><td>19%</td><td>a</td></tr></tbody></table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R3)	42	0 人	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	34	19%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、待機児童解消のため、計画的にクラブの整備を進めたほか、あわせて、そこで働く支援員等の確保支援及び処遇改善なども図った。また、R4年度からの新たな取組として、児童クラブへのインターネット環境の整備を行い、市とクラブ間の情報交換の迅速化並びにクラブ職員の事務負担軽減を図った。 新・郷中教育推進事業では、年次計画に基づき、市内78校で放課後子ども教室を開設した。	児童クラブについては、引き続き、就学児童数や待機児童数の見込み等から、今後の利用見込みを算出し、余裕教室の活用や専用施設の設置、民間事業者による設置など、計画的なクラブの整備に取り組む。 また、支援員等の確保支援や処遇改善に努めるほか、支援員資格取得の促進や児童育成に必要な研修の実施にも積極的に取り組む。 新・郷中教育推進事業では各小学校に放課後子ども教室を開設できている。今後も、充実した学習や体験・交流活動等に取り組む。	KPIについては、放課後における児童の健全育成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、児童クラブにおける支援員の確保と処遇改善に努めるほか、軽度の障害のある児童に対しては、関係機関との連携体制を含め、支援の充実も検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R3)	42	0 人																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
34	19%	a																	
13	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ③ 子育て世帯への経済的支援	出生数に占める第3子以降の割合 <table border="1" style="width:100%;"><thead><tr><th>基準値</th><th>目標値 (R8)</th><th>単位</th></tr></thead><tbody><tr><td>(R2)</td><td>18.8</td><td>20.4 %</td></tr></tbody></table> <table border="1" style="width:100%;"><thead><tr><th>実績値 (R4)</th><th>対目標値</th><th>評価 (R4)</th></tr></thead><tbody><tr><td>20.1</td><td>*</td><td>—</td></tr></tbody></table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	18.8	20.4 %	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	20.1	*	—	KPIについては、実績値がR3年度のものとなるため、評価対象外とした。 R4年度の取組状況としては、子どもの保護者に対し、医療費の一部を助成した。 また、多子世帯への経済的負担軽減を図るとともに、保育所等を利用している3～5歳及び住民税非課税世帯の0～2歳の保育料の無償化を継続したほか、就学・通学の援助、奨学金の貸付による保護者の経済的負担軽減や子育て世帯向けの市営住宅の整備を行った。 これらの取組により、子育て家庭の生活の安定に向けた経済的支援を図った。	今後も引き続き、子育て世帯の経済的負担軽減に努めるとともに、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行う。 また、こども医療費助成制度は、県の補助制度であり、R3年4月から、市町村住民税非課税世帯は18歳まで対象を拡充し、現物給付方式(窓口負担ゼロ)としたところである。なお、中学3年生までは、所得に関わらず現物給付方式を導入することを引き続き県へ要望していく。	子育て世帯への経済的支援については、引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、医療費助成の現物給付方式の導入を積極的に進めるほか、子育て世帯向けの市営住宅の安定的な供給に努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2)	18.8	20.4 %																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
20.1	*	—																	
14	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(5) 仕事と子育ての両立 男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとしたセミナー等の受講者数 <table border="1" style="width:100%;"><thead><tr><th>基準値</th><th>目標値 (R8)</th><th>単位</th></tr></thead><tbody><tr><td>(R2)</td><td>99</td><td>550 人 (5年間)</td></tr></tbody></table> <table border="1" style="width:100%;"><thead><tr><th>実績値 (R4)</th><th>対目標値</th><th>評価 (R4)</th></tr></thead><tbody><tr><td>147</td><td>26.7%</td><td>a</td></tr></tbody></table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	99	550 人 (5年間)	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	147	26.7%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、男女共同参画情報誌を配布し、ワーク・ライフ・バランスの広報啓発を図ったほか、WLB推進アドバイザー派遣により具体的な取組支援を行うとともに、労働局など関係機関と連携を図りながら、働きやすい職場づくりが望まれる事業所に対してもより効果的な取組となるよう、セミナー開催や先進的な取組事例の情報発信を行った。 また、女性活躍推進セミナーとイクボス推進会議を合同開催し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の先進事例や他企業の取り組みに関する情報の共有や、新たな取組として、「イクボスアワード」及び「イクメンの星」(R4年度受賞:2社、2名)を表彰するなど、イクボス推進同盟加盟企業・団体数の増加に努め、H29年11月の同盟設立時から着実に増加(設立時32→R4年度末104)している。 これらの取組により、仕事と子育ての両立のための意識啓発及び環境整備が図られた。	引き続き、労働局等関係機関と連携を図りながら、ワーク・ライフ・バランスの推進について、男女共同参画情報誌や労政広報紙等による周知・啓発に努めていく。 また、引き続きイクボス推進同盟の参加企業・団体の増加に努めるとともに、R5年度からはSNS等を活用し、男性の育児参加に向けた取組を強化するなど、内容の充実を図っていく。	KPIについては、仕事と子育ての両立に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、結婚や子育て支援策との連携を図りながら、仕事と子育てを両立しやすい環境整備や若い世代に対するアプローチなど取組の充実を図るほか、男性の育児取得促進に向けて積極的な情報発信を行うとともに、育休の質に関する実態調査も検討していただきたい。	A	
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2)	99	550 人 (5年間)																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
147	26.7%	a																	

積極戦略3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」

＜摘要＞KPIの評価
 a：十分に達成されている
 b：概ね達成されている
 c：あまり達成されていない
 -：評価なし

検証会議の意見
 A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)														
15	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(1) 個性豊かな資源の価値向上 ① オンリーワンの魅力創出 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R元) 28,800</td> <td>31,000</td> <td>円/人泊</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R元) 28,800	31,000	円/人泊	1人1泊当たりの観光消費額 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>23,600</td> <td>-236.4%</td> <td>c</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	23,600	-236.4%	c	KPIについては、あまり達成されていない。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光消費単価の低い若い世代やビジネス目的の来訪者の割合が高くなったこと、消費単価の高い外国人観光客の回復が遅れたこと等によるものである。 R4年度の取組状況としては、一部のイベントが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったものの、桜島・錦江湾ジオパークの魅力・特性を生かしたジオツアーやスタンプラリー、桜島地域の賑わい創出につながる施設整備の可能性に関する調査、海を生かした回遊性向上を図るクルーズの調査研究、鹿児島マラソンの4年ぶりの開催、かごしま水族館や平川動物公園等の観光施設における魅力づくりに取り組んだ。また、企業版ふるさと納税を活用したスポーツ施設の整備、特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会の開催に向けた各種準備が進められた。 こうした取組により、本市の特性を生かしたオンリーワンの魅力創出を図った。	本市の個性豊かな資源の価値の向上を図るため、R5年に日本ジオパーク認定10周年を迎える桜島・錦江湾ジオパークの推進や、特別国民体育大会及び特別全国障害者スポーツ大会の開催等に、引き続き取り組む。また、新たにeスポーツの促進事業や、桜島におけるサイクルツーリズムの推進事業等を実施し、オンリーワンの魅力創出を目指す。	KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光消費単価の低い若い世代やビジネス目的の来訪者の割合が高くなったこと、消費単価の高い外国人観光客の回復が遅れたこと等により、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、同感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、本市独自の魅力を最大限に打ち出し、観光振興に資する地域ブランディングに取り組むとともに、SNS等を通じた国内外への情報発信にも努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R元) 28,800	31,000	円/人泊																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
23,600	-236.4%	c																	
16	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(1) 個性豊かな資源の価値向上 ② 地域特性を生かした創造性豊かな景観の形成・活用 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R2)</td> <td>95</td> <td>人 (5年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	95	人 (5年間)	景観形成に向けて開催したイベント等に参画した市民の数 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>110</td> <td>14.7%</td> <td>b</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	110	14.7%	b	KPIについては概ね達成されている。 R4年度の取組み状況としては、地区の景観特性にふさわしい景観形成の促進を図るためには、住民等の景観への深い理解のもと、自らの基準づくりと継続的な景観まちづくり活動が望ましいことから、景観形成重点地区指定候補地における地元への働きかけ等においては、今後の方向性等について、丁寧な説明を行った。 また、景観まちづくりに興味のある市民等を対象に、住民主体の景観まちづくり実務経験者を講師とする景観まちづくり市民教室を開催した。	地区の景観特性にふさわしい景観形成の促進を図るため、引き続き、景観形成に対する市民意識の高揚を目的とした取組みを進めるとともに、住民等との協働による取組みを進める。 また、新たな取組みとして、「歴史景観」や「水辺景観」、「市街地景観」等の身近な景観の中から、新たな夜間景観資源を市民と協働で発掘し、ライトアップや街路灯等を整備することで、市民参加による新たなにぎわい創出や愛着と誇りが持てる夜間景観の形成を図る。	KPIについては、地域特性を生かした創造性豊かな景観の形成・活用に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、地域住民の理解促進を図り、連携しながら取組を進めるとともに、地域住民以外の意見も取り入れながら、地域特性を生かした景観形成に取り組んでいただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2)	95	人 (5年間)																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
110	14.7%	b																	
17	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(1) 個性豊かな資源の価値向上 ③ 花や緑、公園緑地の充実 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R2)</td> <td>7.9</td> <td>m²/人</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	7.9	m ² /人	市民1人当たりの都市公園面積 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>8.01</td> <td>55.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	8.01	55.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、武岡公園の整備に向けた用地取得や実施設計等を行ったほか、街路樹の植替や軌道敷緑化の維持管理等を行うとともに、緑化推進イベント等の開催等、協働による緑化活動の促進や区画整理区域内における公園整備等による身近な公園等の創出を行った。 これらの取組により、花や緑、公園緑地が充実し、個性豊かな資源の価値向上が図られた。	個性豊かな資源の価値向上を図るため、引き続き、武岡公園の整備や緑の快適環境の維持等を行うほか、特別国民体育大会及び特別全国障害者スポーツ大会の開催に向け、文化公園の広場整備を行う等、花や緑、公園緑地の充実に取り組む。	KPIについては、花や緑、公園緑地の充実に向け、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、KPIについて、今後、都市公園面積が変動せずとも、人口減少により、市民一人当たりの都市公園面積が必然的に改善していく要素を考慮しながら、適切に評価を行う必要があるほか、花や緑の魅力の積極的な情報発信や、武岡公園の整備に向けた取組も進めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2)	7.9	m ² /人																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
8.01	55.0%	a																	

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																						
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)																								
18	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(2)ひとが集うまちなか環境の充実 ① 観光客受入体制の充実 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 46.3</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 46.3	100.0	%	知人に鹿児島市への旅行を勧めたい観光客の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48.9</td> <td>4.8%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	48.9	4.8%	c	KPIについては、あまり達成されていない。これは、調査時期が8～9月であったため、新型コロナウイルス感染症の第7波の流行や、桜島噴火警戒レベルの引き上げに伴う風評の影響により、旅行の満足度や推奨意向が抑えられていたことなどによるものと考えられる。 R4年度の取組状況としては、稼ぐインタープリターや、ボランティアガイドの育成を行い、高いスキルを備えた観光ガイドの創出、市民ぐるみのおもてなしの推進を図った。また、鹿児島市観光案内所(天文館)の運営や、観光交流センターのJNTO「外国人観光案内所認定制度」の категория II 認定に向けた取組等、観光案内機能の強化に取り組んだ。ユニバーサルツーリズムの推進については、R5年度の特別全国障害者スポーツ大会に向け、受入研修や宿泊事業者のバリアフリー化を実施した。磯新駅については、関係機関と連携しながら設置の促進に取り組んだ。 これらの取組により、観光客受入体制の充実を図った。	ひとが集うまちなか環境の充実を図るため、R5年度の特別国民体育大会及び特別全国障害者スポーツ大会の開催に向けた「ようこそかごしまへ！かごしま国体・かごしま大会おもてなし事業」の実施、稼ぐインタープリターの創出や、桜島・錦江湾ジオパークのガイド育成等を行い、引き続き、観光客受入体制の充実に向けて取り組む。	KPIについては、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、旅行の満足度や推奨意向が抑えられていたことなどにより、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、同感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、推奨意向の有無の理由を分析し、着地型観光の推進に向け、現場へのフィードバックを行うとともに、地域との連携を図りながら、効果的な情報発信を含む取組の充実を図るほか、世界ジオパーク認定に向けて、霧島ジオパークとの連携をさらに推進していただきたい。	A										
基準値	目標値 (R8)	単位																											
(R2) 46.3	100.0	%																											
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																											
48.9	4.8%	c																											
19	3 ひとが集うまちの魅力を「みがく」	(2)ひとが集うまちなか環境の充実 ② まちなかのにぎわい創出・回遊性向上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 89.4</td> <td>91.2</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>(R2) 9.0</td> <td>27.4</td> <td>万人</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>206</td> <td>日 (毎年度)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 89.4	91.2	%	(R2) 9.0	27.4	万人	-	206	日 (毎年度)	中心市街地の店舗のうち営業している店舗の割合 カゴシマシティビューの乗客数 「センテラス天文館(広場)」でのイベントの年間開催日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.0</td> <td>88.9%</td> <td rowspan="3">a</td> </tr> <tr> <td>20.9</td> <td>64.7%</td> </tr> <tr> <td>264</td> <td>128.2%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	91.0	88.9%	a	20.9	64.7%	264	128.2%	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、にぎわい創出につながるイベント開催等の事業に取り組んだ商店街等への助成、中央町の電車通りデッキ工事への補助、まち案内活動、甲突川リバーサイドの利活用に取り組む、まちなかのにぎわいづくりが図られた。スマートフォンアプリを利用した新たな「かごりん」の導入や、照国表参道の歩行者天国社会実験、観光CRMアプリの活用等、まちなかめぐりの仕掛けづくりの取組が推進された。また、地権者の再開発に対する理解促進を図る勉強会の開催やコーディネーターの派遣、協議会の設立や補助金の交付等、再開発等の促進が図られた。	ひとが集うまちなか環境の充実を図るため、これまでの取り組みを引き続き進めていくとともに、R5年度から、鹿児島中央駅から天文館、本港区、さらに鹿児島駅までのエリアにおいて、来街者のさまざまな消費行動やまちの魅力の気付きにつなげ、にぎわいとゆとりある都市空間の創出を目指し、歩いて楽しめるまちづくりを推進する。また、R5年4月に供用開始した新たな「かごりん」や、観光CRMアプリ等について、利活用の促進を図る。これらの取組を通して、まちなかのにぎわい創出・回遊性向上を図る。	KPIについては、まちなかのにぎわい創出・回遊性向上に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、特に「かごりん」について、利用者の移動動向を踏まえた新たなサイクルポートの設置や安全性の向上に向けた取組などを検討しながら、さらなる普及促進に努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																											
(R2) 89.4	91.2	%																											
(R2) 9.0	27.4	万人																											
-	206	日 (毎年度)																											
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																											
91.0	88.9%	a																											
20.9	64.7%																												
264	128.2%																												

適応戦略1 ひと・まちを多彩に「つなぐ」

<概要>KPIの評価
 a : 十分に達成されている
 b : 概ね達成されている
 c : あまり達成されていない
 - : 評価なし

検証会議の意見
 A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																										
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)																												
20	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1) 人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進 ① 都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成	都市機能誘導区域内の大規模小売店舗(1,000㎡以上)の割合 公共交通の利用者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">3年度実績</td> </tr> <tr> <td>(R2)</td> <td>33.6</td> <td>34.5</td> <td>%</td> <td>33.9</td> <td>33.3%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(R元)</td> <td>6357.1</td> <td>5,720</td> <td>万人</td> <td>4587.9</td> <td>*</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	3年度実績						(R2)	33.6	34.5	%	33.9	33.3%	a	(R元)	6357.1	5,720	万人	4587.9	*	<p>KPIについては「都市機能誘導区域内の大規模小売店舗(1,000㎡以上)の割合」は十分に達成されている。「公共交通の利用者数」は実績値がR3年度のものとなるため、評価対象外とした。</p> <p>R4年度の取組状況としては、立地適正化計画は、5年度末のプラン見直しに向けて、住民説明会を開催するとともに推進協議会等を行うことにより、これらの意見を踏まえながら、素案作成に向けた検討に努めた。</p> <p>公共交通ビジョンは、学識経験者、交通事業者、行政等で構成する会議において、事業の進捗管理を行った。</p> <p>公共交通不便地等における交通手段の確保は、公共交通不便地において、コミュニティバスの利用者数の少ない便の減便を行ったほか、コミュニティバス車両の更新(3台)、運行状況などを調べることが出来るバスロケーションシステムの導入、GTFSデータの公開を行い、利便性の向上を図った。また、路線バスが廃止された地域において乗合タクシーや廃止路線代替バスの運行の継続及び新たに桜島垂水線の運行を開始するなどの取組を行った。</p> <p>これらの取組により、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成の推進が図られた。</p>	<p>立地適正化計画については、推進協議会や関係機関等との協議を行いながら、素案・原案を作成し、都市計画審議会を経て、R5年度末に見直しを行う。</p> <p>公共交通ビジョンについては、学識経験者、交通事業者、関係行政機関等で構成する推進会議において事業の進行管理や調整等を行う。</p> <p>公共交通不便地等における交通手段の確保については、引き続き、公共交通不便地において日常生活の交通手段を確保するとともに、コミュニティバスの利用促進に向けて周知広報等に取り組むほか、AIオンデマンド交通の実証実験及び利用状況や移動実態等の調査を実施し、地域の実情に合わせた持続可能な交通手段の調査検討を行う。また、路線バスが廃止された地域において乗合タクシーや廃止路線代替バスの運行を行うなどの取組を継続する。</p>	<p>KPIについては、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、コミュニティバスや乗合タクシーの運行計画について地元住民への丁寧な説明を行うとともに、人口推移の分析や事業効果の検証も十分に行い、施策の工夫や見直しを重ねていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																												
3年度実績																																	
(R2)	33.6	34.5	%	33.9	33.3%	a																											
(R元)	6357.1	5,720	万人	4587.9	*																												
21	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1) 人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進 ② スtockマネジメントの強化	公共施設配置適正化計画に基づく事業完了施設数 危険空き家の解体への助成件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>7</td> <td>65</td> <td>施設</td> <td>12</td> <td>18.5%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(R2)</td> <td>31</td> <td>115</td> <td>件 (5年間)</td> <td>31</td> <td>27.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	(R2)	7	65	施設	12	18.5%	a	(R2)	31	115	件 (5年間)	31	27.0%	<p>KPIについては、十分に達成されている。</p> <p>R4年度の取組状況としては、公共施設配置適正化計画に基づく、建替え等の事業が12施設で完了したほか、空き家等の対策の強化に取り組み、危険空き家の解体について31件の助成を行った。</p> <p>多様な居住ニーズに対応する住環境の形成のため、住生活基本計画の骨子案を作成した。市営住宅については、建替においてバリアフリーに配慮するとともに、住戸の一部を子育て仕様住戸として整備した。また、民間住宅については、耐震改修工事やリフォーム工事の助成等を行った。</p>	<p>公共施設等の計画的な更新・長寿命化については、財政負担の軽減・平準化を図るため、公共施設配置適正化計画に基づく事業を計画的に実施するとともに、空き家等対策の強化については、空き家等対策計画に基づき取り組む。</p> <p>多様な居住ニーズに対応する住環境の形成については、住生活基本計画(R5年度予定)を策定する。また、市営住宅の建替えや改善にあわせて子育て仕様住戸等を整備し、民間住宅については、引き続き補助等の取組を進めることで良質なストック形成の促進を図る。</p>	<p>KPIについては、ストックマネジメントの強化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、危険空き家の解体助成制度のさらなる周知を図るほか、特に若い世代のニーズに対応した住環境の形成に努めていただきたい。</p>	A						
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																												
(R2)	7	65	施設	12	18.5%	a																											
(R2)	31	115	件 (5年間)	31	27.0%																												

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																	
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)																			
22	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1) 人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの推進 ③ 住宅団地の活性化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>3</td> <td>36 件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	3	36 件 (5年間)	住宅団地の活性化に向けて地域主体で実施したまちづくり活動の件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>30.6%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	11	30.6%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、「かごしま団地みらい創造プラン」(R2年度策定)に基づき、対象の29団地に対して、地域住民等との意見交換や、具体的な支援を始めており、地域主体による住宅団地の活性化に向けた取組の促進が図られた。	団地活性化の推進については、引き続き、庁内で連携を図りながら、対象団地における地域主体のまちづくりの実現に向けて、意見交換会、実践セミナー、ワークショップの運営支援、職員や専門家による助言等の支援を行う。	KPIについては、住宅団地の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、若い世代を交えたワークショップ等の取組を進めるほか、多世代の共存・交流状況を把握し、より実効的な支援を行うとともに、団地間の連携強化に取り組んでいただきたい。	A					
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(R2)	3	36 件 (5年間)																						
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																						
11	30.6%	a																						
23	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ① 住民主体の地域づくりの促進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>2,928</td> <td>3,100 団体</td> </tr> <tr> <td>(R3)</td> <td>52.1</td> <td>52.9 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	2,928	3,100 団体	(R3)	52.1	52.9 %	地域コミュニティ協議会の活動への参加団体数 町内会加入率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,188</td> <td>151.2%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>51.2</td> <td>-112.5%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	3,188	151.2%	b	51.2	-112.5%	KPIについては、概ね達成されている。 町内会加入率については、年々減少傾向にあり、加入率が低い単身世帯の増加に伴う総世帯数の増加、転入者等の未加入や既存会員の退会等の要因として考えられ、あまり達成されていない。 R4年度の取組状況として、地域コミュニティ協議会については、コミュニティ意見懇話会を開催し、「コミュニティビジョン」の検証や今後の支援施策の方向性を検討した。また、町内会については、各種活動への助成や各種加入促進施策に取り組んだ。 さらに、地域活動の担い手を育成するため、「コミュニティ活動推進講座」を見直し、町内会の負担軽減や若年層の参画を促す「町内会の多様な世代の参加応援事業」を企画した。 5地域においては、「地域の魅力・活力共創事業」の実施に向けた計画を策定した。	R5年度以降の取組として、地域コミュニティ協議会については、コミュニティ意見懇話会の報告書を踏まえた新たな支援施策を検討する。また、町内会については、不動産団体との連携による町内会への加入促進を強化するほか、庁内で町内会負担軽減にかかるPTを立ち上げ、行政からの依頼業務の見直しについて関係各課と協議する。さらに、多様な世代が地域活動に参加・参画しやすくなる仕組みづくりを併せて支援することで、担い手の確保と育成を並行して進める。 5地域においては、策定した計画に基づき事業を実施し活性化を図る。	KPIについては、住民主体の地域づくりの促進に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、町内会加入促進に向けて、SNSを活用した情報発信やオンライン決済による会費徴収など若い世代が参加しやすい環境整備を進めるほか、地域コミュニティ協議会活動への参加団体と連携しながら、町内会活動の負担軽減に努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(R2)	2,928	3,100 団体																						
(R3)	52.1	52.9 %																						
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																						
3,188	151.2%	b																						
51.2	-112.5%																							
24	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ② 市民との協働の推進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>482</td> <td>839 件</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2)	482	839 件	市民活動団体等との協働事業数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>780</td> <td>83.5%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	780	83.5%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、「市民参画の推進」については、市民等へバブリックコメント実施の周知を行うとともに、市長と語る会の実施回数及びやまちかどコメントーターの人数を増やし、市民の声を聴く機会を充実させた。また、大学に加え新たに中学校において、市政に関する講義等を実施した。 「市民やNPO等との連携及び活動の促進」については、市民活動団体に対し資金面での支援や活動に対する助言等を行ったほか、職員の意識向上のための研修会を実施した。	引き続き、「市民参画の推進」及び「市民やNPO等との連携及び活動の促進」のための取組を継続していく。 また、R5年度はNPO基盤強化事業において、市民活動団体の人材育成や多様な主体との連携を促進する講座等を開催し、団体間の連携や活動を促進する取組を進める。	KPIについては、市民との協働の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、NPO法人のフォローアップを行い、実効的な支援となるよう努めるとともに、団体間の連携も進めていただきたい。	A					
基準値	目標値 (R8)	単位																						
(R2)	482	839 件																						
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																						
780	83.5%	a																						

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)														
25	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 (3) 多文化共生の推進 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R2) 1,938</td> <td>3,200</td> <td>人</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 1,938	3,200	人	多文化共生事業への参加者数 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>3,314</td> <td>109.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	3,314	109.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、多文化共生推進指針の策定や庁内連絡会の設置、職員向け研修会の実施のほか、国際交流センターに外国人相談窓口を設置するなど、多文化共生の地域づくりの推進に取り組んだ。	引き続き、外国人相談窓口の運営や職員向けの多文化共生研修会を実施するとともに、市民向けの多文化共生講演会の開催や多文化共生啓発のためのリーフレット作成などにより、多文化共生の地域づくりの推進に取り組む。	KPIについては、多文化共生の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、市民や職員が多文化共生に対する理解を深める機会を継続的に設け、外国人にとって居心地の良い環境づくりに努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2) 1,938	3,200	人																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
3,314	109.0%	a																	
26	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(3) 国内外の都市との連携・交流の推進 (1) 国際交流の推進 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R2) 1,367</td> <td>2,120</td> <td>人</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 1,367	2,120	人	国際交流事業への参加者数 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>2,543</td> <td>156.2%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	2,543	156.2%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により海外との往来を伴う交流については一部見送りとなったが、オンラインを活用し、姉妹都市等との多彩な交流の推進や次代を担う国際性豊かな人材の育成に取り組んだ。</u> このほか、国際交流センターを中心に国際理解等に関する各種事業・イベントを実施し、市民主体の国際交流活動の促進を図った。 また、ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略は、戦略会議を開催して、進捗管理を行った。	新型コロナウイルス感染症による渡航制限が解除されたことから、海外との往来を伴う交流を実施するとともに、国際交流センターを中心に、国際理解等に関する各種事業・イベント等に取り組む、本市の国際交流の推進を図る。 ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略については、戦略会議を開催して、進捗管理等を行い、同戦略の推進を図る。	KPIについては、国際交流の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、オンラインと対面それぞれの参加状況を把握し、海外との往来を伴う交流機会を増やすなど、継続的に実施できる方法の検討も行っていただきたい。 また、KPIについては、新型コロナウイルス感染症が収束傾向にあることやオンラインを活用した取組の増加により、実績値が上回っていることから、今後、見直しや目標値の上方修正について検討いただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2) 1,367	2,120	人																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
2,543	156.2%	a																	
27	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(3) 国内外の都市との連携・交流の推進 (2) 国内の都市との連携・交流の推進 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R2) 30</td> <td>35</td> <td>事業</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 30	35	事業	連携中枢都市圏における連携事業数 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>34</td> <td>80.0%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	34	80.0%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、連携中枢都市圏の推進については、かごしま連携中枢都市圏ビジョンの適切な進行管理を行うことにより、圏域内の連携の着実な推進が図られたほか、第2期ビジョンを策定した。 また、多彩な都市との連携・交流の推進については、パートナーシップ宣誓制度の都市間相互利用に関する協定を新たに1市と締結し、連携の取組を拡充するとともに、新型コロナの影響を十分考慮しつつ、交流再開となる取組に努めた。	第2期かごしま連携中枢都市圏ビジョンに基づき、引き続き連携事業の効果的な実施に取り組むとともに、新たな連携事業の検討・協議を行い、更なる圏域経済の活性化や公共サービスの拡充を目指し、連携中枢都市圏の取組の着実な推進を図る。 また、四都市連携や交流連携協定を締結している都市との連携・交流を引き続き進めるとともに、その他の都市との新たな連携・交流の可能性について引き続き検討を行う。	KPIについては、国内の都市との連携・交流の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、圏域内の住民の参加状況や人的交流の把握に努めながら、各方面から連携事業に取り組んでいただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2) 30	35	事業																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
34	80.0%	a																	
28	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4) 移住の促進 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>(R2) 79</td> <td>800</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	(R2) 79	800	件 (5年間)	移住セミナー等における延べ面談件数 <table border="1"> <tr> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> <tr> <td>225</td> <td>28.1%</td> <td>a</td> </tr> </table>	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	225	28.1%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、IJU倶楽部会員特典サービスや移住奨励金の拡充、オンライン相談会・セミナーの開催など、本市への移住促進に努めた。 また、新たに移住者交流サロンを開催し、移住者の定住促進に努めるなど、各種施策に積極的に取り組んだ。	引き続き、移住情報の提供のほか、相談・受入体制や移住支援制度の充実など、移住希望者の多様なニーズに対応した支援に取り組み、本市への移住を促進する。	KPIについては、移住の促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、移住希望者のニーズ把握と移住後のフォローアップ体制の充実を図るほか、新型コロナウイルス感染症収束後の社会に対応できるよう移住動機を分析するとともに、本市の地域特性をアピールすることも検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位																	
(R2) 79	800	件 (5年間)																	
実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																	
225	28.1%	a																	

重点戦略

<摘要>KPIの評価
 a : 十分に達成されている
 b : 概ね達成されている
 c : あまり達成されていない
 - : 評価なし

検証会議の意見
 A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見																				
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)																					
29	(1) “世界に選ばれるまち KAGOSHIMA” 推進プロジェクト	(1) インバウンド対応の強化 (2) MICEの積極的な誘致	外国人宿泊観光客数 1人1泊当たりの外国人観光消費額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2)</td> <td>6.5</td> <td>60 万人</td> <td>2.2</td> <td>-8.0%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>(R元)</td> <td>30,700</td> <td>33,000 円/人泊</td> <td>30,700 *</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>R元年度実績</p>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	(R2)	6.5	60 万人	2.2	-8.0%	c	(R元)	30,700	33,000 円/人泊	30,700 *	-	<p>KPIについては、あまり達成されていない。これは、新型コロナウイルス感染症の状況等に応じ、水際対策や移動制限の継続・段階的な緩和がなされたこと等によるものである。「1人1泊当たりの外国人観光消費額」は実績値がR元年度のものとなるため、評価対象外とした。 R4年度の取組状況としては、インバウンド対応の強化については、アフターコロナにおける観光需要回復を見据え、台湾の個人旅行者向けのデジタルプロモーションや、北前船寄港地フォーラムにおける観光PR、世界水泳をフックとしたプロモーションを展開したほか、ムスリムやベジタリアン等食の多様性に対応するための支援、民間事業者やまち歩きボランティアガイドの英語力・コミュニケーション力向上を図る講座の実施、大型クルーズ船の誘致や受入体制の整備に取り組んだ。 MICEの積極的な誘致については、大都市圏へのMICE誘致セールスや、世界マスターズ水泳選手権における他市と連携したPR活動を実施し、誘致の促進を図った。</p>	<p>“世界に選ばれるまち KAGOSHIMA”づくりを図るため、各市場の特性に応じた海外プロモーションや、世界水泳選手権・世界マスターズ水泳選手権をフックとしたプロモーション、MICEの推進等を引き続き実施するほか、新たに、ナイトタイムエコノミーの実証実験事業、インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化事業、国際大会等スポーツキャンプ受入事業を実施し、インバウンド対応の強化、MICEの積極的な誘致に取り組む。</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症の状況等に応じ、水際対策や移動制限の継続・段階的な緩和がなされたこと等により、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、同感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、回復するインバウンド需要を見据えて、引き続き、プロモーション活動や多様な文化・ニーズに対応できる受入体制の構築、インバウンドに対応できる人材の育成に努めるほか、オーバートゥリズムやサービス業の労働者不足などの課題にも早期に取り組んでいただきたい。</p>	A	
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																					
(R2)	6.5	60 万人	2.2	-8.0%	c																					
(R元)	30,700	33,000 円/人泊	30,700 *	-																						
30	(2) “次代につなぐふるさと担い手” 創出プロジェクト	(1) ふるさと教育の推進と大学との連携強化	「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合の全国との比較 大学との新規連携事業・取組数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27～R元の平均)</td> <td>小6 +1.3 中3 +2.8</td> <td>小6 +2.7 中3 +6.0</td> <td>ポイント</td> <td>小6 +0.7 中3 -3.1</td> <td>-113.7%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>(R2)</td> <td>7</td> <td>100 件 (5年間)</td> <td>36</td> <td>36.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	(H27～R元の平均)	小6 +1.3 中3 +2.8	小6 +2.7 中3 +6.0	ポイント	小6 +0.7 中3 -3.1	-113.7%	b	(R2)	7	100 件 (5年間)	36	36.0%	<p>KPIについては、概ね達成されている。 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合の全国との比較については、コロナ禍による地域行事の縮減等が要因として考えられ、あまり達成されていない。 地域人材等の授業への参画、職場体験活動については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施回数や実施期間を制限しての実施であったが、各学校で工夫し、活動内容の充実を図りながら取り組むことができた。 「かごしま創志塾」・「ジュニア創志塾」では、郷土出身の著名人による講話や郷土に関するフィールドワークなどの活動を通して、郷土教育の充実が図られた。また、同窓会を開催することで、ネットワーク体制が再構築され、「ふるさと・鹿児島」への誇りと愛着心の持続化が図られた。 まちづくり提言の機会の創出としては、中学生及び大学生が学校内で発表するとともに、市長に対して提言発表・意見交換を行うことで、市民参画意識の醸成・若い世代の地元志向の向上や共創のまちづくりに資する人材育成が図られた。 各大学との連携事業・取組については、R2年度及びR3年度と比べ、新型コロナウイルス感染症の影響も少なく、各大学の特性を生かした取組を展開することができた。 また、「まちづくり未来の担い手」育成事業として、市内学生を対象に課題解決型インターンシップを実施するなど、学生の発想をまちづくりに生かすとともに、地元で活躍できる人材育成につながることができた。</p>	<p>郷土教材の活用や地域人材等の授業への参画、職場体験活動については、アフターコロナにおける対面での取組を意識し、小学校から高等学校までの各ステージに応じた教育活動をさらに充実させていく。併せて、「ふるさと・鹿児島」への誇りと愛着の心を育む取組を引き続き進める。 「かごしま創志塾」・「ジュニア創志塾」については、引き続き魅力あるプログラムを提供するとともに、関係機関・団体等と連携し、深まりのあるプログラムの充実を努める。また、卒業生を具体的な活動の場で活用し、SNS等を活用した効果的な情報発信とネットワーク体制の機能化を図る。 引き続き、中学校及び大学において、市政に関する講義等を実施し、学生の市政への関心や理解の促進を図るとともに、本市課題に対する意見交換・提言の発表などを通して、市民参画意識の醸成・若い世代の地元志向の向上や共創のまちづくりに資する人材育成を図る。 引き続き、大学の特色を生かした共同研究や連携事業に取り組むとともに、学生のまちづくりへの関心を高める取組を進めるなど、さまざまな分野において、各大学との連携事業・取組を一層充実させる。</p>	<p>KPIについては、ふるさと教育の推進と大学との連携強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、市政に関する講義等の開催を通じて、学生の提言発表の機会を設けるなど、地元で活躍できる人材育成に取り組むほか、オンラインの活用を含む効果的な事業の実施方法について検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																					
(H27～R元の平均)	小6 +1.3 中3 +2.8	小6 +2.7 中3 +6.0	ポイント	小6 +0.7 中3 -3.1	-113.7%	b																				
(R2)	7	100 件 (5年間)	36	36.0%																						

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																																		
				施策の進捗状況等 (R4) ※下線部は、新型コロナウイルス感染症に関する記載	今後の方向性(考え方)																																				
31	(2) “次代につながるふるさと担い手”創出プロジェクト	(2) 関係人口の創出・拡大 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 3,629</td> <td>80,000</td> <td>人</td> <td>20,136</td> <td>21.6%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	(R2) 3,629	80,000	人	20,136	21.6%	a	首都圏等における体験機会となるイベント等への参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 3,629</td> <td>80,000</td> <td>人</td> <td>20,136</td> <td>21.6%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	(R2) 3,629	80,000	人	20,136	21.6%	a	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、民間事業者等との連携を挙げながら、SNSや各種イベント等の活用により、本市の魅力を生内外に発信し、都市イメージの向上やシンボリックプライドの醸成、首都圏の若者等との本市との関係性の深化を図った。	引き続き、市民や事業者、本県出身者等と連携を深めながら、首都圏等の若年層へのターゲットングや、SNS、各種イベント等の効果的な活用により、本市イメージの向上や関係人口の創出につなげる。	KPIについては、関係人口の創出・拡大に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、取組の効果を継続的に検証しながら、都市イメージの向上を図るとともに、首都圏の若者等をターゲットとしたSNS等による効果的な情報発信や体験機会の提供の充実に取り組んでいただきたい。	A										
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																																				
(R2) 3,629	80,000	人	20,136	21.6%	a																																				
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																																				
(R2) 3,629	80,000	人	20,136	21.6%	a																																				
32	(3) “デジタル技術で豊かなまち”創出プロジェクト	(1) 地域産業の生産性向上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 1</td> <td>15</td> <td>件 (5年間)</td> <td>7</td> <td>46.7%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(R2) 16</td> <td>65</td> <td>件 (5年間)</td> <td>19</td> <td>29.2%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	(R2) 1	15	件 (5年間)	7	46.7%	a	(R2) 16	65	件 (5年間)	19	29.2%	ICT関連企業の立地協定件数 スマート農林水産業関連技術の導入件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R2) 1</td> <td>15</td> <td>件 (5年間)</td> <td>7</td> <td>46.7%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(R2) 16</td> <td>65</td> <td>件 (5年間)</td> <td>19</td> <td>29.2%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	(R2) 1	15	件 (5年間)	7	46.7%	a	(R2) 16	65	件 (5年間)	19	29.2%	KPIについては、十分に達成されている。 R4年度の取組状況としては、中小企業のICT等活用支援として、専門家の派遣やICTツールの導入、ECサイトの立ち上げ等に対する助成を行った。 また、ICT関連企業の立地に関しては、市内や首都圏のICT企業を訪問し、本市の立地環境や補助制度等の説明を行ったほか、プレスリリース配信サービス(PRIMES)や、新聞広告の掲出、首都圏における展示会への出展により、本市の立地環境や補助制度をPRし、ICT関連企業の立地に取り組んだ。 ICT関連産業の振興にもつながるよう、クリエイティブ産業創出拠点施設マークメイザンにおけるエンジニア向けのセミナーやWEBクリエイター等の交流・マッチングイベントの開催等を通じて、クリエイティブ人材の育成やコミュニティ形成に取り組んだ。 スマート農林水産業の推進については、説明会・研修会及び先進事例調査を実施し、農業者の理解促進と意識醸成が図られたほか、現地実証事業や現地検討会について、当初予定より、1年前倒しして取り組み、生産者のほ場において、スマート農業技術の実証を行い、効果の検証やその効果等を整理・検討した。	引き続き、中小企業のICT等活用支援として、専門家の指導によるICTツールの導入、ECサイトの立ち上げ、SNSを活用した広告宣伝に係る経費等に対する助成を行う。 ICT関連企業の立地に関しては、引き続き積極的な企業訪問等を行い、補助制度や都市の魅力など本市の強みをPRし、企業立地のさらなる推進を図るとともに、フォロー訪問による情報交換等を通じて状況把握や雇用確保への支援を行う。また、連携中枢都市圏の構成市及び県との連携を図りながら企業立地を推進する。さらに、ICT関連産業の振興にもつながるよう、mark MEIZANにおける取組を継続すること等により、引き続き、人材育成に取り組むほか、エンジニアやクリエイター等のコミュニティを生かしたマッチング機会の提供等に取り組んでいく。 スマート農林水産業の推進については、スマート農業の研修会や先進事例調査等を実施することで、農業者の理解促進と意識醸成を図るほか、生産者のほ場において、スマート農業技術の実証を行い、その効果等を整理・検討し、効果が検証された機器について、導入支援を行っていく。	KPIについては、地域産業の生産性向上に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、ICTツールの導入等に係る財政的支援のみならず、ソフト面を含むきめ細かな支援を行うほか、スマート農業については、国内外の事例等も参考にしながら生産性向上・合理化を推進していただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																																				
(R2) 1	15	件 (5年間)	7	46.7%	a																																				
(R2) 16	65	件 (5年間)	19	29.2%																																					
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																																				
(R2) 1	15	件 (5年間)	7	46.7%	a																																				
(R2) 16	65	件 (5年間)	19	29.2%																																					
33	(3) “デジタル技術で豊かなまち”創出プロジェクト	(2) 市民生活の利便性向上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R元) 小6 -1.1 中3 +0.4</td> <td>小6 +2.0 中3 +2.0</td> <td>ポイント</td> <td>小6 - 5.5 中3 -13.4</td> <td>-502.2%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>(R2) 29,441</td> <td>43,000</td> <td>件</td> <td>58,236</td> <td>212.4%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	(R元) 小6 -1.1 中3 +0.4	小6 +2.0 中3 +2.0	ポイント	小6 - 5.5 中3 -13.4	-502.2%	b	(R2) 29,441	43,000	件	58,236	212.4%	授業でコンピュータなどのICTを「ほぼ毎日」使用したと回答した児童生徒の割合の全国との比較 電子申請利用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R8)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(R元) 小6 -1.1 中3 +0.4</td> <td>小6 +2.0 中3 +2.0</td> <td>ポイント</td> <td>小6 - 5.5 中3 -13.4</td> <td>-502.2%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>(R2) 29,441</td> <td>43,000</td> <td>件</td> <td>58,236</td> <td>212.4%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)	(R元) 小6 -1.1 中3 +0.4	小6 +2.0 中3 +2.0	ポイント	小6 - 5.5 中3 -13.4	-502.2%	b	(R2) 29,441	43,000	件	58,236	212.4%	KPIについては、概ね達成されている。 「授業でコンピュータなどのICTを「ほぼ毎日」使用したと回答した児童生徒の割合の全国との比較」が達成されていないのは、本市においては、令和4年2月に全児童生徒に対する1人1台のタブレット整備が完了したが、全国の平均と比べて、完了時期が遅れたことに加え、KPIの根拠統計である「全国学力・学習状況調査」の調査時期が令和4年4月であり、整備完了からの期間が短かったことが影響しているものと考えられる。 R4年度の取組状況としては、地域におけるスマートフォン講習会等を実施したほか、指導主事やICT支援員を各学校へ派遣し、授業支援や研修等を行った。また、行政手続のオンライン化を79手続(24手続増)に拡充し、クレジット決済機能を追加するなど、機能の充実を図った。 これらの取組により、ICTによる市民の利便性向上が図られた。	全世代におけるICTリテラシーの向上に向けた講座等を継続するとともに、教育においては、授業でのICT活用の頻度が高まり、タブレット端末の持ち帰り等も進んできていることから、今後も引き続き、児童生徒が情報機器端末を日常的に活用していくよう、指導主事やICT支援員等による支援や研修の充実を図る。 また、「行かなくてもよい市役所」の実現に向けて行政手続のオンライン化をさらに推進する。	KPIについては、市民生活の利便性向上に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、ICTの活用に精通する人材の育成に取り組むとともに、情報リテラシー教育の充実を図り、個人情報の取扱いやトラブル発生時の対応など十分な対策を行っていただきたい。	A
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																																				
(R元) 小6 -1.1 中3 +0.4	小6 +2.0 中3 +2.0	ポイント	小6 - 5.5 中3 -13.4	-502.2%	b																																				
(R2) 29,441	43,000	件	58,236	212.4%																																					
基準値	目標値 (R8)	単位	実績値 (R4)	対目標値	評価 (R4)																																				
(R元) 小6 -1.1 中3 +0.4	小6 +2.0 中3 +2.0	ポイント	小6 - 5.5 中3 -13.4	-502.2%	b																																				
(R2) 29,441	43,000	件	58,236	212.4%																																					